

2. 大学院教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

聖心女子大学大学院は、学位授与方針に基づき、次のような方針で教育課程を編成し実施します。

- 1 「聖心女子大学の理念」および「聖心女子大学大学院学則」に基づき、体系的、順次性を考慮し、標準修業年限以内に確実に効果的に目的、目標を達成できるよう教育課程を編成します。
- 2 学問分野の研究蓄積を十分に踏まえたうえで、体系的で幅広い学識を培うコースワークと、研究活動の遂行をとおして研究能力を育成するリサーチワークとの順次性とバランスに配慮して教育課程を編成します。
- 3 授業形態については、講義、演習、実習等の適切性とバランスに配慮して、十分な数の科目を開設し、全体として効果が上がるように教育課程を編成します。少人数制を基本とする授業と研究活動をとおして「聖心女子大学の理念」および研究倫理への理解を深め、思考力、判断力を伸ばし、自発性、創造性を発揮することができるよう、特に配慮します。
- 4 各専攻の設置目的と特性とを生かし、専攻ごとにその「修了生像」の実現に向けて最新の研究状況を反映させて教育課程を編成します。

（1）修士課程・博士前期課程

修士課程・博士前期課程では、上記1～4に加えて、次のような方針で教育課程を編成し実施します。

- 5 研究活動の集大成として、2年次以降において全員が修士論文を提出します。専攻にふさわしいテーマを自ら設定し、先行研究を適切に踏まえて論文を作成するため、特に、修士論文作成に向けた研究指導、論文作成指導の機会を十分に保証します。
- 6 幅広い学識と多角的な視点を身につけるため、他専攻の科目の履修を一定の範囲内で認め、他大学院との単位互換、委託聴講制度を活用することもできます。国際的な視野を養い、研究活動の活性化を図るために、外国の大学院への留学による履修を一定の範囲内で認めます。

（2）博士後期課程

博士後期課程では、上記1～4に加えて、次のような方針で教育課程を編成し実施します。

- 7 博士論文の作成を博士後期課程の研究活動の中心として重視し、専攻にふさわしく価値の高いテーマを自ら設定し、学界の研究水準を十分に踏まえつつ独創性のある論文を作成するため、特に、論文作成に向けた研究指導、論文作成指導の機会を十分に保証します。

8 授業と研究活動をとおして自発的精神と応用力を養い、研究者としての独創性を発揮し、自立して研究活動を行い得る研究能力を身につけることができるよう、特に配慮します。

(2017年10月10日更新)